

2019年度 事業計画

- ◆ 万博記念公園内の一施設として、展示の質の向上や入館者の満足度向上に努め、園内の賑わい創出に貢献します。
- ◆ 不特定多数の入館者の増加に心がけ、また関連の民芸館・美術館・博物館・大学および百貨店ミュージアム等と連携を強めて民芸運動の普及啓発に努めます。
- ◆ 公益財団法人として、事業運営の安定した財政基盤を固めて、真に公益性の高い施設運営を目指します。

1. 民芸に関する公開展示事業

(1) 春季特別展

- ・ 展覧会名称：「自然布 ―草木で織りなす―」
- ・ 開催時期：2019年3月2日(土)から7月15日(月・祝)
- ・ 記念講演会：演題：「布と日本人」
講師：ひろい のぶこ氏（造形作家/染織研究）
日時：2019年6月16日(日)
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：100名（予約制）
参加費：聴講料300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）
※当日は、民芸作品に直接触れる機会をつくるため、館内で呈茶を企画したい。

(2) 秋季特別展

- ・ 展覧会名称：「多々納弘光の仕事」
- ・ 開催時期：2019年8月31日(土)から12月10日(火)
- ・ 記念講演会：演題：(タイトル未定)
講師：多々納真（出西窯代表）
日時：2019年10月中旬
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：100名（予約制）
参加費：聴講料300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）
※当日は、民芸作品に直接触れる機会をつくるため、館内で呈茶を企画したい。

2. 民芸関連機関との連携を通じた調査研究、収集ならびにショップ事業

- (1) 春季・秋季特別展関連の民芸品を中心に窯元、出版、家具・染織・紙製作者を通じ、作品を収集し、不特定多数の入館者(ミュージアムショップのみの来場者含む)に廉価で販売。
- (2) 全国17箇所の民芸館および関連の美術館・博物館の展示会情報を不特定多数の入館者(ミュージアムショップのみの来場者含む)に提供。

3. 民芸に関する調査研究ならびに普及啓発事業

(1) みんなげいぜみ及びワークショップ

様々な分野の指導講師による不特定多数の来館者を対象とした研修を実施することにより、民芸の基本的な知識について、普及啓発を図ることを目的として実施する。
秋季特別展の開催期間は未定。

①みんなげいぜみ

演題：「原始布・古代織の過去、現在、そして未来」

講師：山村幸夫氏（出羽の織座・米澤民藝館館長）

日時：2019年5月19日（日） 14:00～15:30

会場：大阪日本民芸館会議室

定員：20名（予約制）

参加費：300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

②はじめての「民藝」

2017年度より特別展会期ごとに、4回にわたり初めての方にもわかりやすく「民藝」を概説する講座を開催した。

2019年度より改めて4回を予定して当企画を継続する。

第1回として以下のとおり予定する。

演題：「民藝」の始まりと柳宗悦

講師：小野絢子（大阪日本民芸館学芸員）

日時：2019年3月17日（日） 14:00～15:30

会場：大阪日本民芸館会議室

定員：20名（予約制）

参加費：300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

なお、次回は秋季特別展に合わせ開催予定

③藤績みワークショップ

演題：「木綿以前・藤織りのこと」

講師：井之本泰氏（丹後藤織り保存会会長）

齋藤麻弓氏（丹後藤織り保存会会員）

日時：2019年4月7日（日）

10:00～12:30、14:00～16:30、（2回予定）

会場：大阪日本民芸館会議室

定員：各回15名（予約制）

参加費：1200円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

(2) ギャラリートーク＜学芸員による展示解説＞

当館学芸員による、不特定多数の来館者を対象としたギャラリートークを実施することにより、開催中の展示に関し、より深く理解できるように導き、民芸の普及啓発を図ることとする。
実施は月2回を原則に、全10回を予定する。

(3) みんなげい市

関西圏を中心とした作り手による陶磁器、木漆作品・染織の展示販売を通じ、民芸の普及啓発を図るとともに若手作り手作家を支援する。

日時：2019年5月11日(土)、12(日)

会場：大阪日本民芸館周辺

参加民芸作家：20名程度 2018年の来場者は約1,580名

参加費：無料

4. 資金調達ならびに設備投資について

2019年度において、資金調達ならびに設備投資は予定しない。